

さくらの里新聞



第251号 令和6年11月18日発行

発行元 社会福祉法人心の会 さくらの里

通所介護課 課長（管理者）：馬賀清子 主任：入山祥子

〒238-0026 横須賀市小矢部4-19-4 E-mail: day@sakura-asunaro.com

電話046-852-0500 ファックス046-852-0643

さくらの里公式ブログ・デイサービス日記 <https://ameblo.jp/sakura-asunaro01/>

運動会

10月10日(木)～16日(水)

今年の運動会は数年ぶりに紅白に分かれて対戦しました。コロナ禍で個人のスポーツ競技の形にするなど変更していたのですが、やはり運動会は「赤勝て白勝て」とやりたくなります。はちまきを頭に巻くと気持ちが引き締まるようです。「鐘の鳴る丘」の替え歌でお客様から歌詞を募集して作った運動会の歌でも久しぶりに歌い



ました。長年の人気種目「ヒッパレ」はやはりいつやっても大盛り上がりです。競技は全員参加のもの、選抜選手の個人のもの、団体戦のものがあり、1週間の前半後半でも内容が変わります。今年新たに加わったスポンジを押し出すゲームもカラフルなスポンジが右に左に動き白熱していました。団体戦はボールをパス回してシュートを打つ「ボール送りバスケット」こちらもお客様が今まで見たことがないかもしれないほど俊敏に動く姿が印象的でした。スポーツの秋、万国旗の下、皆様の笑顔が光るあっという間の1時間でした。



避難訓練

10月30日(水)

これから乾燥する季節、施設内で火災が発生したことを想定した避難訓練を実施しました。お客様には予め、訓練であることを数回お伝えして不安のないようにしていただきます。火災発生の際を受けた職員は、お客様に避難することをお伝えし、開始の合図とともに数名ずつで屋外に移動します。ここで慌ててしまうと転倒などの危険もあるため落ち着いて行動することが大事です。お客様のご協力のおかげで、前回実施した時よりも人数が多かったにもかかわらず避難完了までの時間が短縮できました。ご協力いただきありがとうございました。



特選スイーツ「いちじくのタルト」

地元・衣笠にあるフルーツをふんだんに使ったタルトケーキが大人気の洋菓子店「パティスリー・

オムヴェリテ」から、いちじくのタルトを召し上がっていただきました。いちじくは三浦半島の農園で作られる白いちじくを使っており、収穫の状況などでいつ販売するかは予想を立てにくく、お店の方と調整を重ねながら企画する時期を決めました。しっとりとしたいちじくをたくさん重ねた見た目はもちろんその味も絶品です。いちじくの優しい甘さが口いっぱいになり、クリームとの相性も抜群。これこそ特選スイーツと言いたくなる美味しさに皆様も感嘆の声を漏らしていました。



10月のさくらクラフト工芸活動 粘土の鉢植え

今回のクラフトは、素焼き調粘土で小さな鉢植えを作り、さらに多肉植物を植えます。素焼き調粘土は、粘土を自然乾燥させる事でまるで窯で焼いて作ったかのような仕上がりになります。仕上がりはレンガのような色なので植木鉢にするにはちょうど良さそうです。最初に粘土を成形します。「ひんやりして気持ちいいね」と感触も楽しめていいですね。まん丸や楕円形、金魚鉢のようにアクセントをつけ



てみたり、粘土なので途中で調整しながら作ることができます。形を整えたら1週間ほど乾かしてまずは植木鉢の完成です。そこに多肉植物を植えていきます。多肉植物は茎や葉に水を貯めることができ、乾燥した状態でも育つ元気な緑です。素焼き風粘土は水をかけられないため、水やりしなくてもそのまま観賞できるのが良いですね。ご自宅のお好きなおところに飾って、癒されてください。

海鮮せんべい味比べ

10月21日(月)22日(火)



今回の食べ比べは、なんとなく懐かしさのある昔ながらの海鮮せんべいです。種類がいろいろある中、海老や海苔を練りこんで焼いた「えび満月」、イカや海老を練りこみ特製のたれをつけて焼いた「いかちび焼き」の比較的ポピュラ

ーな2種を召し上がっていただきました。封を開けただけで磯の香りがしてきます。えび満月は海老の風味が広がる軽い口当たり、いかちび焼きは甘辛いタレがクセになりそうです。今回はいかちび焼きが人気でした。

